

リスク説明書(LION FX 法人のお客様用)対比表

平成 29 年 2 月 27 日

(青字部分は追加、青字部分は削除箇所)

現 行	変 更 後
<p>2. レバレッジ効果によるリスク</p> <p>本取引は、レバレッジ(てこの原理)を利用した取引であり、対価で行う為替取引に必要な資金と比較して、少額の資金での取引が可能のため、少しの為替レートの変動であっても、お客様の未決済ポジションの評価損益は大きく変動します。従って、預託された資金の元本割れもしくは元本を上回る損失発生の可能性があります。</p> <p>当社では、お客様の便宜のため、「最大レバレッジ」と「実効レバレッジ」とを使い分けております。「最大レバレッジ」とは、必要証拠金が対価で行う為替取引に必要な資金の何倍の取引となっているかを示すもので、「実効レバレッジ」とは、口座全体のレバレッジのことで、有効証拠金が対価で行う為替取引に必要な資金の何倍の取引となっているかを示すものです。なお、法人のお客様の「最大レバレッジ」「実効レバレッジ」は、最大100倍となっております。</p>	<p>2. レバレッジ効果によるリスク</p> <p>本取引は、レバレッジ(てこの原理)を利用した取引であり、対価で行う為替取引に必要な資金と比較して、少額の資金での取引が可能のため、少しの為替レートの変動であっても、お客様の未決済ポジションの評価損益は大きく変動します。従って、預託された資金の元本割れもしくは元本を上回る損失発生の可能性があります。</p> <p>当社では、お客様の便宜のため、「最大レバレッジ」と「実効レバレッジ」とを使い分けております。「最大レバレッジ」とは、必要証拠金が対価で行う為替取引に必要な資金の何倍の取引となっているかを示すもので、「実効レバレッジ」とは、口座全体のレバレッジのことで、有効証拠金が対価で行う為替取引に必要な資金の何倍の取引となっているかを示すものです。なお、法人のお客様の必要証拠金は、為替リスク想定比率(以下、「為替リスク」といいます。)×想定元本以上の額となります。為替リスクは、通貨ペアごとに異なり、当社では、原則として一般社団法人金融先物取引業協会が金融商品取引業等に関する内閣府令第117条第27項第1項に規定される定量的計算モデルを用いて算出する数値を利用します。なお、為替リスクは、原則として1週間ごとに見直しが行われ、「最大レバレッジ」「実効レバレッジ」は、最大100倍 は、為替リスクの逆数(想定元本÷必要証拠金)となりますので、1週間毎に変動します。</p>

以下、削除箇所の記載は省略します。

「レバレッジ」と「スプレッドによるロスカット」

(1)「レバレッジ」

①最大レバレッジとは、想定元本から比較して、本取引を行うために最低限必要である必要証拠金で算出した最大の倍率をいいます。

<最大レバレッジの算出方法>

「最大レバレッジ」= 想定元本(為替レート × 取引数量) ÷ 必要証拠金

例) USDJPYの買いレートが116.230円、為替リスクが1.90%のとき、1Lot(1,000通貨)買う場合

「想定元本」= 116,230円

想定元本 = 為替レート(116.230円) × 取引数量(1,000通貨) = 116,230円

「必要証拠金」= 2,240円

算出期間の終値のうち最も高いレートの想定元本に為替リスクを乗じた金額(10円未満切り上げ)

月	火	水	木	金	土	日
—	—	—	—	終値 116.887	—	—
終値 116.887	終値 117.742(★)	終値 117.239	終値 115.34	—	—	—
必要証拠金の公表	—	—	—	—	—	—
必要証拠金の適用期間	←			→ 適用期間		

レート(★)	1Lotあたりの通貨数量	為替リスク	算出結果	必要証拠金(10円未満切り上げ)
117.742	1,000	1.90%	2237.098	2,240円

「最大レバレッジ」= 51.89倍

最大レバレッジ = 想定元本(116,230円) ÷ 必要証拠金(2,240円)

②実効レバレッジとは、お客様の口座の有効証拠金からみて、全ての未決済ポジションに対してかかる口座の実効の倍率をいいます。~~実効レバレッジは、最大100倍となっておりますが、~~取引数量、預託金等により、お客様ご自身で実効レバレッジを調節することができます。

<実効レバレッジの算出方法>

「実効レバレッジ」= 想定元本 ÷ 有効証拠金

例1) 次の条件でUSDJPYの116.230円の買いポジションを1Lot(1,000通貨)保有している場合

・預託金が3,000円

・USDJPYの売りレートが116.227円

「想定元本」= 116,227円

想定元本 = 116.227円 × 1,000通貨 = 116,227円

「有効証拠金」= 2,997円

評価損益(時価評価) = {売り(評価レート) - 買い(約定価格)} × 1,000通貨
= (116.227円 - 116.230円) × 1,000通貨
= -3円

有効証拠金 = 預託金(3,000円) + 評価損益(-3円) = 2,997円

「実効レバレッジ」= 38.78倍

実効レバレッジ = 想定元本(116,227円) ÷ 有効証拠金(2,997円) = 38.78倍

例2) 例1の預託金が4,000円だった場合

「想定元本」= 116,227円

想定元本 = 116.227円 × 1,000通貨 = 116,227円

「有効証拠金」= 3,997円

評価損益(時価評価) = {売り(評価レート) - 買い(約定価格)} × 1,000通貨
= (116.227円 - 116.230円) × 1,000通貨
= -3円

有効証拠金 = 預託金(4,000円) + 評価損益(-3円) = 3,997円

「実効レバレッジ」= 29.08倍

実効レバレッジ = 想定元本(116,227円) ÷ 有効証拠金(3,997円) = 29.08倍

(2)「スプレッドによるロスカット」

スプレッドとは、売りレートと買いレートの差のことをいい、お客様は買いレートで買い付け、売りレートで売り付けることができ、通常、買いレートは売りレートより高くなります。お客様が買いレートで買い付けた後、ただちに売りレートで時価評価、または、売りレートで売り付けた後、ただちに買いレートで時価評価を行うため、買い付けた直後または売り付けた直後の評価損益(時価評価)はマイナスとなる可能性が高く、有効証拠金の全額を必要証拠金として、ポジションを保有された場合、買い付け直後または売り付け直後にロスカットとなる可能性があります。

<ロスカットの基準>

有効比率が100%未満となった時点

有効比率 = 有効証拠金 ÷ 必要証拠金 × 100

例) 次の条件でUSDJPYの買いレートが116.230円のと看、2Lot(2,000通貨)買う場合

・預託金が4,480円

・ USDJPY の売りレートが 116.227 円

・ 1Lot あたりの必要証拠金が 2,240 円

「必要証拠金」 = 4,480 円

必要証拠金 = 1Lot あたりの必要証拠金 (2,240 円) × 2Lot (2,000 通貨) = 4,480 円

「有効証拠金」 = 4,480 円

保有中のポジションがないため、有効証拠金 = 預託金

「必要証拠金」が「有効証拠金」の範囲内（同額）であるため、2Lot (2,000 通貨) の買い注文が約定

「有効証拠金」 = 4,474 円

評価損益 (時価評価) = {売り (評価レート) - 買い (約定価格)} × 2,000 通貨
= (116.227 円 - 116.230 円) × 2,000 通貨
= -6 円

有効証拠金 = 預託金 (4,480 円) + 評価損益 (-6 円) = 4,474 円

「有効比率」 = 99.87% < 100% → ロスカット

有効比率 = 有効証拠金 (4,474円) ÷ 必要証拠金 (4,480円) × 100 = 99.87%

以上は、本取引に伴う典型的なリスクを簡潔に説明するものであり、本取引に生じる一切のリスクを漏れなく示すものではありません。本取引を開始される場合、取引の仕組み及びリスクについて十分にご理解頂くようお願い申し上げます。

平成 28 年 4 月 11 日現在

平成 29 年 2 月 27 日